

経営比較分析表（令和元年度決算）

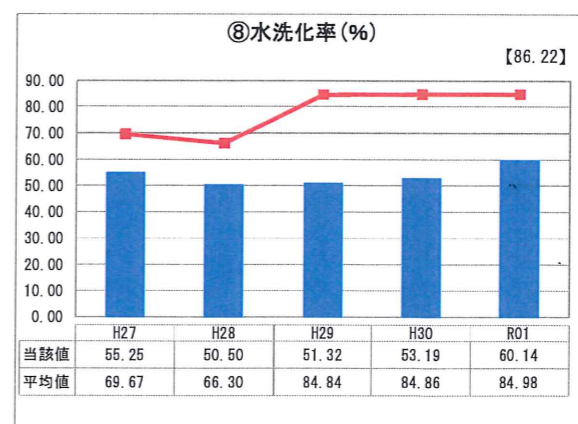
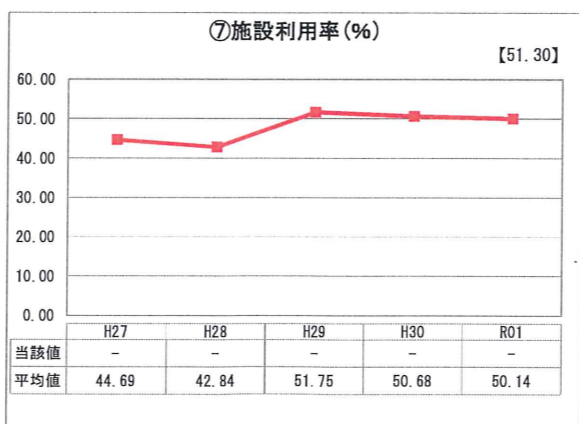
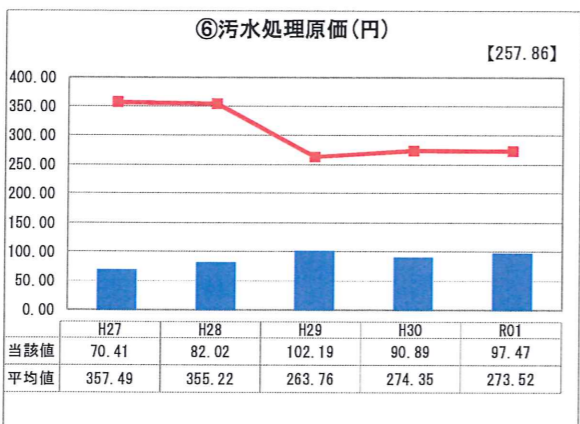
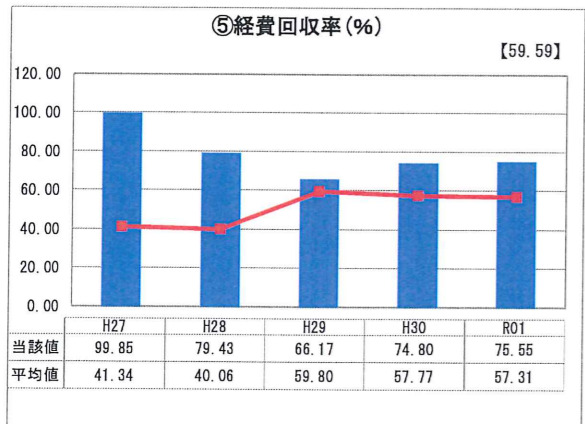
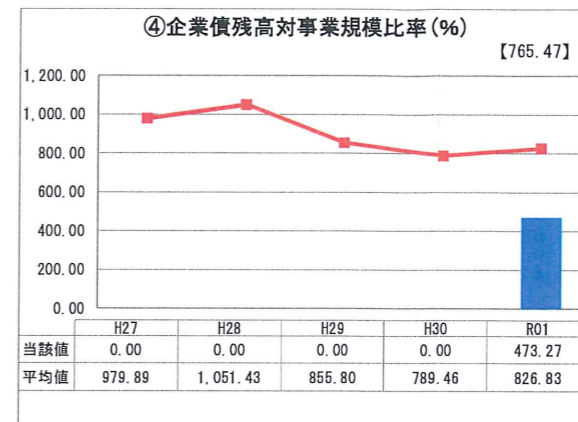
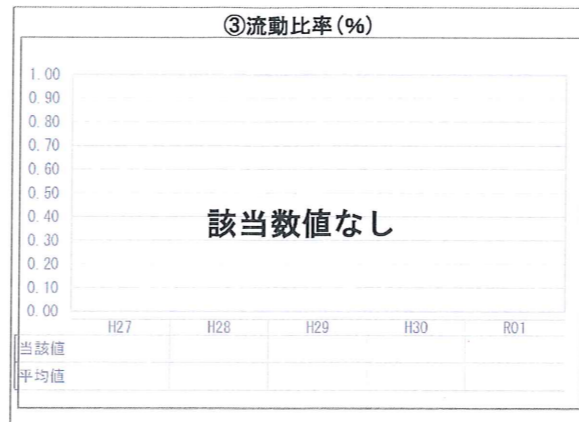
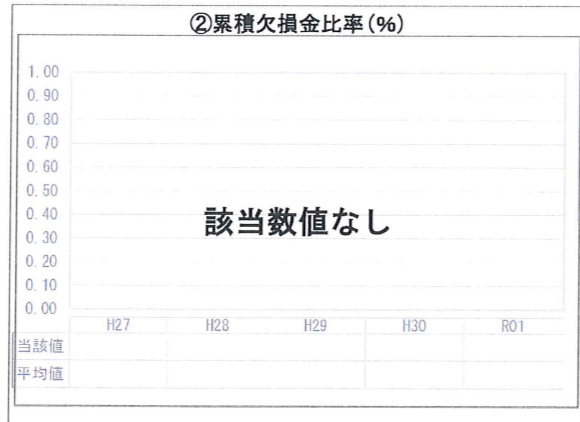
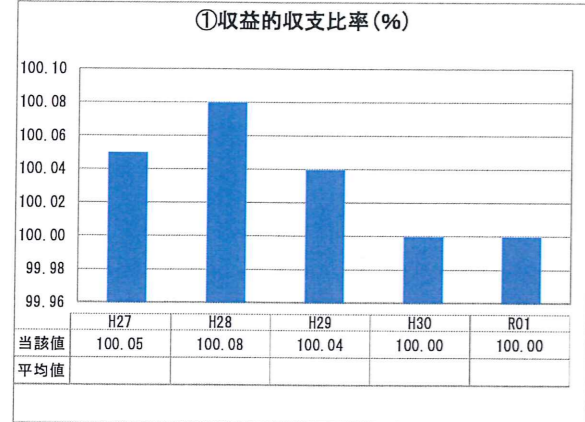
沖縄県 久米島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.38	89.87	1,513

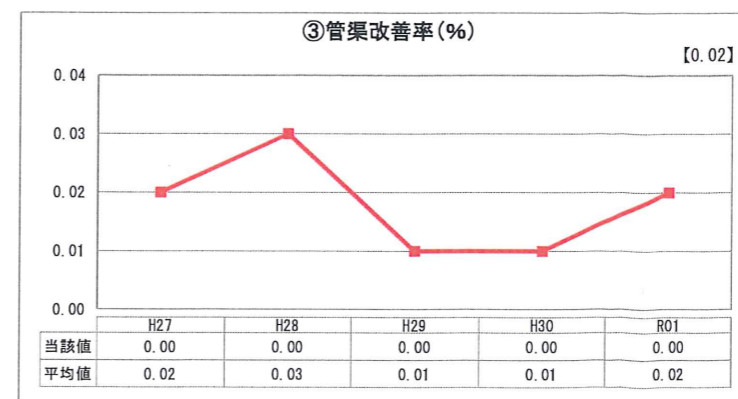
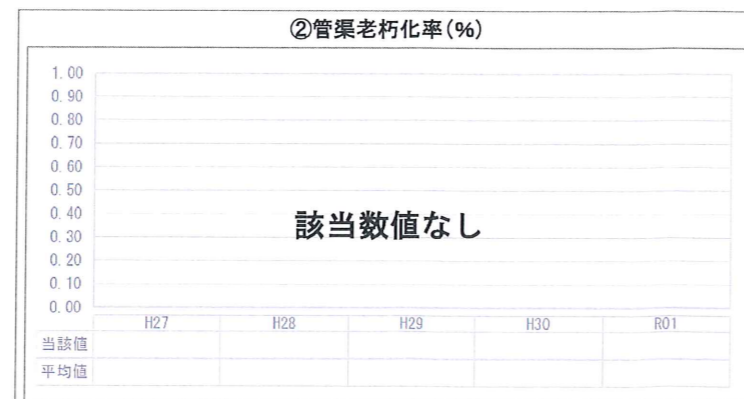
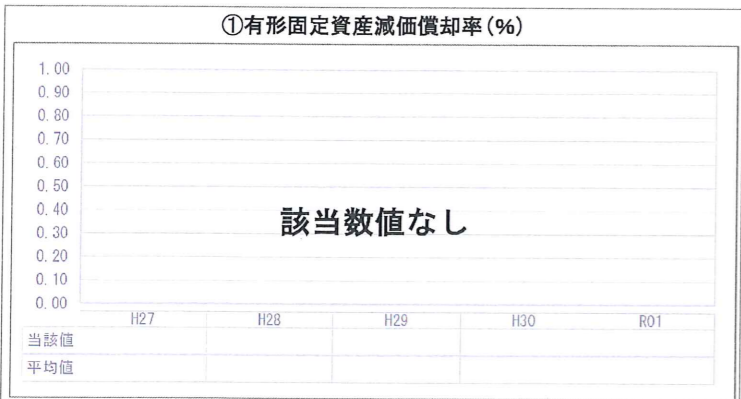
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,772	63.65	122.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
414	0.31	1,335.48

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
平成23年度に料金改定があり、以降各年度の収支は黒字となっており健全な状態といえるが、今後の設備更新投資等の財源を確保するためには、更なる費用の削減及び接続率の向上に取り組む必要がある。

④企業債残高対事業規模比率
新たな投資計画の予定がなく、企業債残高は少額となっている。毎年度の企業債元利償還金は、一般会計からの繰入金で賄っている。

⑤経費回収率
平成23年度に料金改定があり、平均値を上回るようになった。令和元年度には75.55%となっており、今後も回収率の向上に努める。

⑥汚水処理原価
平均値を下回っており有収水量の増加により原価は減少傾向にある。今後は、不明水への対策が必要となる。

⑦施設利用率
平成13年度特定環境保全公共下水道へ接続（汚水処理を特環の処理場で処理している）

⑧水洗化率
接続数は微増であるが処理区域内人口の減少により横ばい状態となっている。平均値を大きく下回っており適正な水準の料金に結び付いていない。今後は水洗化率向上のための普及啓蒙活動を強化する必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
供用開始から19年経過しているが、現段階での管路更新の必要性は低い。

全体総括

経営の健全性及び効率性を図りつつ、今後想定される下水道施設の老朽化対策に向け、水洗化率の向上に努め、下水道事業として独立採算とする経営への取り組みが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。